

オリンピックからのメッセージ

【松江市立湖南中学校】

ねらい

オリンピックの生き方や考え方に触れ、自分自身の日常につなげる。

いつ

令和2年11月4日(水)

どこで

松江市立湖南中学校 体育館

だれが

生徒(3年生:183名) 教職員(10名)

※講師…鹿島 丈博 氏

[大東文化大学スポーツ健康科学部准教授]

なにを

○ オリンピックに関する講話

概要

- ・オリンピックの体験談を聴き、オリンピックの理念や価値を学ぶとともに、東京大会への気運醸成を図る。
- ・オリンピック選手になるまでの努力、そしてけがを乗り越えメダルを獲得するまでの苦悩と挫折を知り、最後までやり遂げようとする大切さに気付く。
- ・オリンピックの生き方にふれ、目標をもって様々なことに挑戦する意欲を高め、自分自身の生き方につなげるきっかけとする。



目標を具体化すると、頑張る方向性が決まる!



夢を目標にかえ、何事も諦めずに頑張っていきたいと思います。



2004年のアテネオリンピック金メダリスト(体操)である講師の演技映像が流れると、誰もスクリーンに釘付けとなりました。講師は、これまでの25年の体操人生を振り返り、世界の大舞台で活躍する裏側には、失敗や挫折と向き合いながら競技人生を送っていたことを紹介されました。そして、「失敗することは、原因を突き詰めて成功につなげるチャンスである。」と生徒にメッセージを送りました。これから夢に向かって進路選択をしていく中学3年生にとって、オリンピックを通して未来の自分を思い浮かべ、これからの生き方・あり方を学ぶ貴重な機会となりました。